

三郷市国際交流協会 会長 高野 力 1月15日(火)

令和2年に寄せて!\*

\* 新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた令和2年(ねずみ年のスタート)です。

各自が新年の決心(new-year resolution)をした事と思ひますが、合わせて、我々国際交流協会としての決心も必要でしょう。

<視点の1> 外国の人は日本をより一番深めていく。

<視点の2> 日本の伝統文化を大切にしよう。

<視点の3> 近隣の市町の国際交流協会の人達との交流を深めよう。

以上3点をより良く具現化する為に、KKが国際観の上に立ち、努力していきましょう!!

### (1) 第14回 NINJAルーム

「私の日本語の学び方」に参加して!\*



\* 11月30日(火)私は神奈川県  
の駅に28分に降り立ちました。  
一路 学術総合センター内にある  
一橋大学講堂を目指しました。  
(奇しくも 講堂の反対側は共  
講堂のある横丁でした。  
50年前、全国中学生の英語  
弁論大会があり、開催されました)  
そんな思いを抱きながら  
一橋大学講堂へ入ってきました。

<探検>

- ・木暮暢子(国立図書研究所  
司教受)
- ・20周年(10周年)=大学共同  
創立から20年12月

<学術総合センター玄関口>

・日本語 ---- 13.13な言語がある

①共通語

②昔の日本語

③方言

→ 現代言葉(英字、カナ、アルファベット)

→ 外国人が日本語を学ぶ ← 日本人が日本語を学ぶ

<背景> 他の日本語が アルバニア、アブドーラ

・日本に来てから3年目 (東洋人学校)

エジプト出身(日本)音



今まで日本語を吸収。

日本語が ----- 外国人とて日本にいながら日本で会うより  
日本から何をばんたかといつ事である。

<出版物>

<1つの顔> 言語比較 → アルバニア語の本

・MHKアルバニア語辞典

(辞典)

日本語の本  
辞書

<2つの顔> 翻訳 (学生の頃から)

・日本には何が

・アルバニアには何が

↓  
大学で指導

<日本の文化・教科書等の翻訳>

→ アラブ、中東地域の本

①機関誌 8人

②表紙 187人

③学者著書 8人

④トルコ 219人

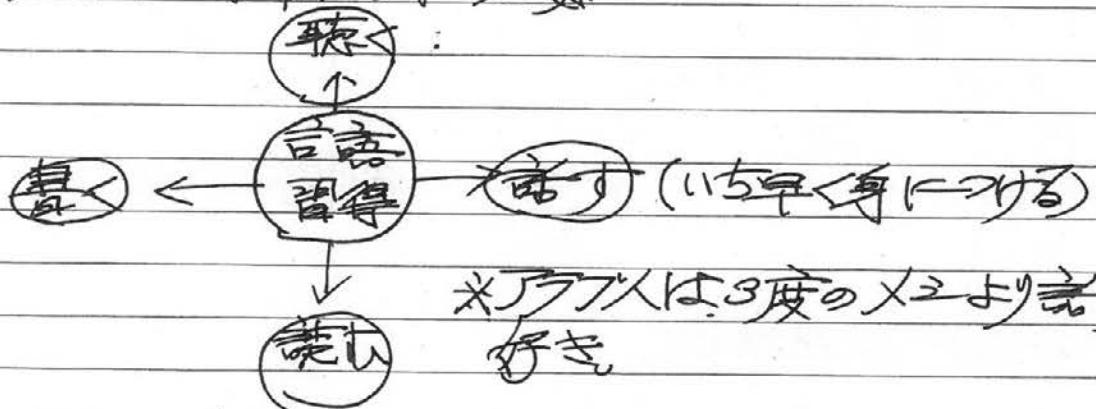
<学習の動機>

\* 日本の最先端技術、日本文化の魅力  
ヨーロッパの美徳

①日本語教育実施状況

②筆者

### 3) 聴覚 言語事情と外国語



- ・耳がいい
- ・教えるよりも、ヒントで身につけるか
- ・学習方法も工夫 → 重要な意味を持つ。

{ 多く聞く  
多く書く

→ 翻訳する事が大事

\*サイケティック ----- 聞く状況が必要(赤ちゃん出生から1年間)

無理作っていく(聞く) ... ラジオ聞こはなし。

#### <方音篇>

- ・アウトプットで変わる。(段階に沿って学習方法)

→ 自分の声を聞く  
音楽  
ICレコーダー

#### <筆音篇>

何回も聞く → 聞く  
(多音字練習)  
日本語に直し筆音

- ・文字を走らせるか、いか
- 文字を書く

4

書く力を身につける。(文章を書き写す)

文の構成 } 覚える  
文型

日本語を学ぶ 文化外交(日本をめぐって取り組むべき)

日本社会を理解する。

受け入れる学部(学科) ← 日本語を2年間学ぶ(教科)  
もまれるだけで身につかない。

言葉の力は無限大。

<講座> モハメド・オマル・アブテヤ (京都産業大学特聘客員教授)

→ 廊下と言語習得外国人。

スーターの国(南スーター ← 日本の自衛隊)  
5人兄弟(次男) = 宣讀大臣庄。



勉強(盲学校、聾聴の学校) ← 近所の小学校で学ぶ  
対応した教科教員はほとんどない。(1校1教員)

→ 耳で聞く(貌, 友達) 生きる道がない。

失意

暗記は大切(その場で覚えなければならぬ。)

<大学>

点字(点の組み合わせ)を始めて使う。

アラビア語で書かれた物はなかった

・本が競争率。←一点字が出来る。

・エシット(放逐 = 小競アラベア語)

\*大学の共通試験なし。→セイタ試験(高専と大学入試)



大学に入学許可した。

(多くの書物を読む。←反対(反対))

あすかれた。



<マサーシュを学ぶ=日本へ>

留学 ……息子を送られるのはと父娘の心配。

→日本語な児童式で学んで日本へ来た。

・スーパーで買物は出来る。

何を買いたいのか

どこへ行きたいのか

} 伝える。(→何ならいけば)

何なら不可以)

<月末>

<2月> 高学校受験

<4月> 本格的に勉強する。

<年末放送> ⇒ ラジオ(1313年会議)

・広島カーフ

→見えなければ英語が出来ない

講義 ↔ レクチャー

\*データベースを頭の中に入れる。

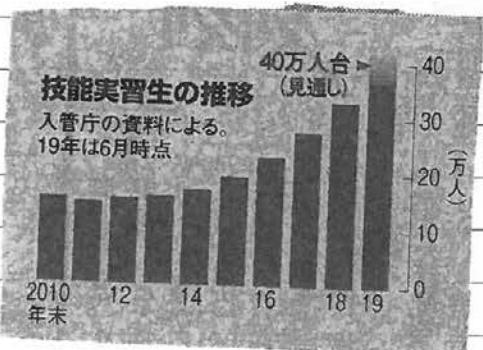
・点字を学ぶ。

・表書き(点字の本を録音する。) ⇒ 毎週2,3冊読む。

↓(生放送)

目の前にいる学習者が理解が出来(日本文学)

## (2) 増える実習生!! 伸びゆき実習生!!



\* 低賃金など職場環境の悪化が問題視されてきた「技能実習」の在留資格を得る外国人が増えてきている。(年末には40万人近く)

<特定期制>(在留資格)  
1万7千人(試算) ← 1733人(13年実績)

<政府> 昨年(2月8日)に回国管理局を成立させる(新規設立)  
前年度 ... 1万7千人  
5年間 ... 34万5千人) 試算

\* 成立から制度開始で4ヶ月しかない「急いでえだつたことから準備が整った国は想定されたけ向の中、云ひい  
カニボシテ、メール、ドネアの形態で留学生を募っている

技能実習生は増加傾向にある

6月末 ... 約30万7千人(半年で2万9千人増加)  
→ 事務、介護(半年間で60%増)

\* 政府や文部省が技能実習は必ずしも良い。  
問題点 ... 賃金未払い、実習生の失踪(9052人→1千99人)  
→ 3年の技能実習からすれば試験を受けて、  
特定期制へと資格変更です。

## (3) 予定

1月15日(水) 交流部会(AM19:00～21:00) 市民セミナー  
24日(金) キリスト団、松トタウンホール(1:00) 三郷市議会  
29日(水) 接待部会(AM19:00～21:00) 市民セミナー

観点の1> 外国人の人達との手をより握り取っていこう。

観点の2> 日本の伝統文化を大切にしよう。

観点の3> 近隣の市町の同僚交流協会と連携を取ろう。